

# 鹿児島

市区町村名	木の名前	木の画像	花の名前	花の画像	コメント・備考	入力日
和泊町			エラブユリ		市の花「エラブユリ」可憐な白い花です。	2007/10/2
鹿児島市	くすのき		きょうちくとう		<p>市の木:くすのき クスノキ科の木で、比較的暖かいところに植生し、高さは20～30メートルにもなります。常緑樹(南国的)で喬木(雄大)となり、成長力(発展性)が旺盛であることから、鹿児島市のシンボルとして親しまれるよう市の花と同時に制定されました。(昭和43年11月1日制定)</p> <p>市の花:きょうちくとう 南方系の原産で、キョウチクトウ科の常緑樹。夏ごろ紅色の花が咲きます。本市に成長している花の中では花梗が長く、市民に親しまれている花です。(昭和43年11月1日制定)</p>	2007/10/29
加治木町	くす		つつじ			2007/10/29
大崎町	くす		さざんか		町花『さざんか』、町木『くす』 大崎町のシンボルである町花と町木は、昭和43年頃、全国の自治体において、町章・町花・町木制定の動きがある中、大崎町においてもその気運が高まり、町民の皆さんに公募した結果、要望の多かった町花『さざんか』、町木『くす』に決定し、昭和46年1月に制定されました。	2007/10/29
枕崎市	椿		菊		<p>○ 市の木:椿(樹勢が強く抵抗力があり、本市のような潮風がきつい所でも育つところから本市発展の力強さを示唆する)</p> <p>○ 市の花:菊(電照菊栽培が本市の基幹産業である)</p> <p>※ いずれも昭和54年9月に市制30周年を記念して制定されました。</p>	2007/10/30
日置市	クロマツ		うめ		<p>日置市は、日本三大砂丘の一つ吹上浜を有し、白砂青松といわれる青々とした松林が象徴的であり日置市のイメージに合致し、風雨にも耐え、たくましく育つ松林は、日置市民にも一番身近である。</p> <p>クロマツは、力強い生命力を持ち、歴史を刻み、たくましく発展する日置市を表し、これからも市民に親しまれる木である。</p> <p>うめの花は、酷暑や厳寒に耐え、百花に先駆け「凜」として美しい花を咲かせ、市内の各所に植えられ親しみがあり心を和ませる花である。 梅は、四君子(蘭・菊・竹)の一つとして、気品と気高さを象徴し、古くから教育や文人精神を表した植物とされ、日置市との歴史的なつながりも深く、広く日置市民に親しまれる花である。</p>	2007/10/30
阿久根市	ボンタン		石蓴(つわぶき)			2007/10/30
志布志市	びろう		ひまわり			2007/10/30

さつま町	モミジ		薩摩寒蘭		<p>町の木『モミジ』～カエデ科の落葉広葉樹で、古くから風致樹として多くの人々に親しまれ町内にも広く分布し、夏は緑、秋は赤と葉色に変化する季節感のある木です。</p> <p>町の花『薩摩寒蘭』～常緑多年生の蘭科植物で、霊峰紫尾山に自生し、その種類の多さ、花の姿、色彩の美しさ、芳香の良さから愛好者も多く、全国的にもその名が知られています。</p>	2007/11/1
肝付町	クス		キク		<p>町木『塚崎の大楠(国指定天然記念物)』 塚崎古墳群第1号墳の上に根をおろし、推定樹齢1300年といわれています。高さ25m、目通り幹周13mです。樹上には50種類あまりの植物が着生し、神木として崇敬を受けています。</p> <p>『小田の楠』 第12代景行天皇が内之浦の小田で休憩した際にお忘れになった枝が根付いて大楠になったと伝えられています。</p> <p>町花『キク』 町内には、キクを栽培する生産者が7名いらっしゃいます。平成17年の生産者は県内で2番目となっています。キクの種類は輪菊とスプレー菊の2種類です。</p>	2007/11/1
薩摩川内市	クロガネモチ		カノコユリ		<p>市木:クロガネモチ(もちのき科) 『高く伸びる木・常緑の葉は、市の発展を象徴』 当市の山野に分布する常緑樹で、樹姿は雄大・樹性は強健です。通称「実つき」と呼ばれ、11月から3月まで枝いっぱい赤い実をつけ、美観をそえます。 また、この木を群植すると、この実を求めて多くの鳥類が集まります。粘り強くてたくましく成長する姿は、市制の発展を、集まる小鳥からは、市民の融和を表現しています。</p> <p>市花:カノコユリ 『初夏に咲くピンクの花は、市民の優雅さと情熱を、そのたくましい生命力は市民の活力を象徴』 カノコユリの原産地は日本と台湾で、特に、当市に存する甌島は「鹿の子ゆりのふるさと」として、道路端や山間部のいたる所に自生しています。カノコユリの名前の由来は、桃紅地に濃厚な斑点の対比を「鹿の子しぼり」にたとえて、江戸時代の愛好家が名付けたものと伝えられています。欧米でも、その美しさゆえに人々を魅了し、現在も愛され続けています。</p>	2007/11/5
湧水町	ヒガンザクラ (エドヒガン)		ノハナショウブ			2007/11/8